

文芸きくち

万句の里俳句会 7月例会

いそいそと今日も出かける白日傘
ローソクの燃えつく速さ梅雨上る
はらはらと無人の家の竹落葉
初蟬に心も晴れていきにけり
どの顔もとろける笑顔葛蔓頭

岩木 敬治
隈部 輝子
加藤 妙子
松永 久子
宮本 雅子

七城短歌会 7月詠草

投稿の古き写真に旧友が広報見たよと電話掛け来し
田の畦に赤き卵を今に産むジャンボタニシを除去の手止まる
老人車押しいる散歩早苗田に伸びたる影が我に真似する
難聴の我にいくの木立ちより梅雨の晴れ間をふる蟬しぐれ
境内を掃きいるそちこち蟬出でし穴に遇うとも鳴き声聞かぬ

緒方 寛子
緒方 正俊
高木 精
佐々 重弘
嶋田 晴美

せせらぎ俳句会 7月例会

筋目立て押し寄せ来る青田風
カサブランカ夜の仏間に香を満たす
長寿にとオクラづくしを食卓に
そわそわと孫を待つ間の夏料理
熟れ過ぎが好きと半値のトマト買う

五丁 義昭
藤本アツ子
森 正子
寺本 和子
藤本 邦治

「里」短歌会 7月詠草

夏一夜サツカーワールドカップに捕られる瞬を切るさままるで稲すま
真夜中に暴れる川を「見てくる」と雨に出でゆく夫の背凍と
「母さんの不揃いドーナツ好きだった」娘の語る幼な日のこと
華々しく相思鳥鳴く声響き厨の吾の汗また誘う
蓮の花咲きし古代に思い馳せ佇みおれば杜鵑鳴く

松本 和子
江頭 桂子
宮本 淑子
前原 ゆみ
林 淑子

旭志文芸教室俳句の会 7月詠草

ほととぎす車ライトの日暮れ坂
十本のからいも植へし芒種かな
胡瓜もぐ棘のちくりと指を刺す
田植えすみ瑞穂の国やすつきりと
旅立ちの孫見送るや走り梅雨

芹川 蓉子
稗田 達恵
中尾ヨシコ
芹川のり子
水谷 ミネ

溪流短歌会 8月詠草

登山電車箱根路登れば突然に視界開けて目の前に富士
鞍岳の山肌眩しも目交ひに新緑もゆる白金の森
熊本の大水害から幾星霜自然の脅威いや増すばかり
若き日の置き座の上に仰向きて星の流れを幾つか見たり
老いてなほ自我強きわが性と省みをれば不意に涙が

山田 弘子
中川 愛子
堤 よしみ
川口 敦子
北村 玉恵

肥後狂句水笑会 7月例会

見え張って いつも良かつば着てこらす
タイムサービス 子の友たちも並ばせて
もて過ぎて メール見るたびうろたえる
もて過ぎて 媽は阿弥陀で決めらした
見え張って グルメが済むとぬくめ飯

御手洗三代
宮上 美由
井手 水光
柏原 乗仏
山隈 好茶

菊池短歌会 8月詠草

ブヨにまた刺されたと言いつの跡を夫に見せる畑の小陰
たまゆらの残光のしづく宿しつ夕べを開くゆうすげの花
街上に端居しながら外に吹く人を渡れる風は聴きぬつ
スポーツに政治は不要逆走の台風のち半分虹立つ

安藤 則子
中川 愛子
怒留湯健蓉
瀬上 修次

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会
肥後狂句水笑会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578
山隈 ☎0968(38)2051

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会 / 溪流短歌会
木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 古賀 ☎0968(25)1764